

## 6月の植物

### イチヤクソウ (ツツジ科)

学名 : *Pyrola japonica* Klenze ex Alef.

故貞松光男氏の案内により作礼山でイチヤクソウの群落を見たのが初めてだった。花はつかず葉ばかりだったので、私の興味は薄く、先輩諸氏が珍しそうにカメラに収めるのが不思議でならなかった。イチヤクソウは佐賀県絶滅危惧種ではないが生育は少なく、希少な植物の部類に入る。ちなみに類似種のマルバノイチヤクソウは「2020 佐賀県絶滅危惧」I類種。最近、イチヤクソウの開花に遭遇し、改めて可愛らしく慎ましい植物と認識した。

ツツジ科イチヤクソウ属の植物で山地の林下に生育する常緑の多年草。葉は根元に集まり、葉柄は3~8 cm、葉形はほぼ円形。厚く光沢があり、目立たない鋸歯がある。ウメ型の花は下向きに咲き、おしべ10, めしべ1、葯は先に穴があいて花粉がこぼれ出す孔開葯。

分布は日本全土。和名は「一薬草」の名が充てられ、「この植物一つで諸病に効くとされるが明らかでない。全草を煎じて消炎、止血に服用する。」とある。(文責 井手義信)

参考文献：野草図鑑⑦ (保育社)、ポケット版佐賀の薬草 (佐賀県薬剤師会)



2020年6月 佐賀市